

あの鷹巣町の その後 (2005)

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 日本

色彩 Color

時間 180分

初公開日 2006/03/18

公開情報 自由工房

【解説】

秋田県鷹巣町を舞台とした「住民が選択した町の福祉」「問題はこれからです」に続く、羽田澄子によるドキュメンタリー作品。福祉政策を掲げた町その後を描く。

秋田県にある鷹巣町は米代川流域の人口2万2千人程の町。1991年に老人福祉の充実を掲げ当選した若き町長・岩川徹が、デンマークの福祉に学んだシステムを町に作り上げてきた。ところが議会には反対勢力が多く、プロジェクトはなかなかスムーズに運営されない。それでも岩川町長は3期12年の間に、社会福祉協議会による24時間の在宅ケアや、福祉公社が運営する“ケアタウンたかのす”を創り上げる。すべて個室でユニットケアの80床、30床のショートステイ、デイセンターを持つ施設で、鷹巣町は日本一の福祉の町と言われるほどになった。ところが2003年の選挙で4期目を目指した岩川は、町村合併を掲げた対立候補に驚くべき大差で敗れてしまう。新町長はレベルの高い福祉に対し、一般会計からの補助で支えられていることでやりすぎだと唱える。2005年3月、北秋田市が誕生。果たして鷹巣が培った“福祉”は今後どういった道を辿るのか。

【クレジット】

監督 羽田澄子

製作 工藤充

撮影 宗田喜久松

西尾清

相馬健司